

第 85 回大分県畜産共進会 乳用牛の部 審査総評

ST ジャパン株式会社 福屋 茂生

第 1 部は、発育に優れた 7 頭が出品されてきました。この中でトップにしました 104 号牛ですが、顔から頸の品位や長さや体全体の移行の滑らかな点、また胸底におきまして幅があり中軀の肋腹の開帳の点でも素晴らしいものを持っていました。

第 2 部は、体長のある牛、体高のある牛や肋の構造の素晴らしい牛といろんな種類の牛が 5 頭出品されてきました。その中でトップにしました 202 号牛は頸の長さ薄さ胸の深さ中軀の肋の開帳、前肋から後肋へ非常に開帳していますし、尻の形状を見た場合にも腰角、座骨の位置が非常に素晴らしいと思います。

第 3 部は、乳用性に富んだ牛、体長のある牛が 3 頭出品されたクラスでした。その中でトップにしました 301 号牛は鼻鏡の幅、顔の品位、頸の長さ薄さ甲部の鋭角的な牛でありますし、歩様時に優雅に歩く牛であると判断しております。

第 4 部は未経産の大きいクラスですべて妊娠しているクラスでした。その中で上位 2 頭は、非常に僅差でした。1 位にした 402 号牛は体長や体高のバランスに優れ、中軀の肋の開帳と胸底の幅があり、腰角の幅においても素晴らしいと判断いたしました。

未経産最高位

3 頭を未経産牛最高位決定審査にピックアップいたしましたが、どの牛も素晴らしい若牛達でした。その中で最終的に 3 部首席牛を最高位、2 部首席牛を準最高位にさせていただきました。未経産の最高位にした 301 号牛は、最も正確な骨格構造をしており、頸の長さ薄さ甲部の鋭角的な牛で正確な歩様という点においても優れていると判断させていただきました。準最高位に選んだ 202 号牛は乳用雌牛としての品位、中軀の肋の開帳、前肋から後肋へ非常に開帳していますし、尻の構造におきましてより正確な構造をしており素晴らしい牛でありました。

第 5 部は初産のクラスで、乳房底面の高い牛が 5 頭揃っていました。トップの 501 号牛は非常に中軀の肋の開帳または、体全体の乳用性という点、腰角、座骨の幅、歩様時の肢の運び、乳頭配置において非常に正確なものを持っていました。

第 6 部は 3 歳クラスですが、乳用性に富んだ乳房底面の高い牛が 4 頭揃ったクラスでした。その中でも上位 2 頭は接近していました。1 位にした 601 号牛は非常に顔の品位頸の長さ薄さ中軀の移行の滑らかさ中軀の肋腹の開帳が素晴らしく、乳器においても前乳房の付着、

後乳房の高さ幅、乳頭配置といった点で非常に素晴らしいものを持っていました。しかしながら2位の605号牛は、1位の牛よりも胸底の深さ幅、腰角や座骨の幅など全体的なフレームの強さがありました。

第7部は4歳以上クラスですが、非常に乳用性に富んだ乳房底面の高い5頭が出品されてきました。1位の701号牛はき甲部が非常に発達しており、前肋の高さ中軀の幅など非常に強いフレームを持っており、乳器におきましても乳房の質感や後乳房の高さにおいて素晴らしいものを持っていました。

経産牛最高位

5部・6部より3頭の経産牛の経産牛最高位決定審査にピックアップさせていただきました。その結果、経産牛の最高位には、6部主席の601号牛と決定させていただきました。3歳クラスの牛で、今回出品された経産牛の中で、最も欠点が少なく、各部位において正確な骨格構造をしており、バランスの取れた牛でありました。準最高位には、同じく6部の3歳クラス605号牛と決定しました。この牛は体各部位の移行が正確かつスムーズで乳用性にも富んだ牛でありました。